ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

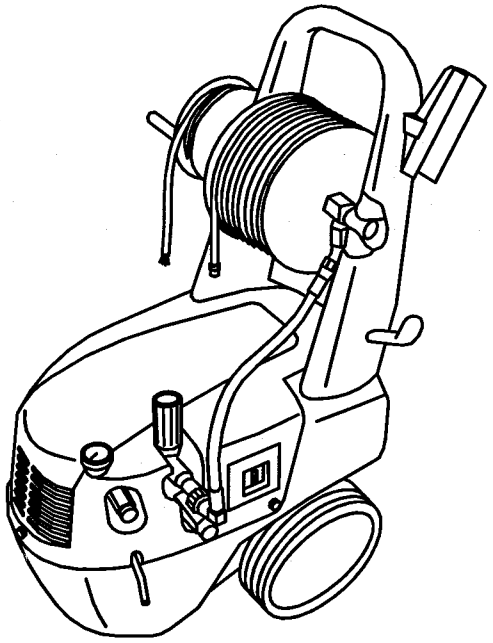
取扱説明書

高圧洗浄機

モデル　HW150

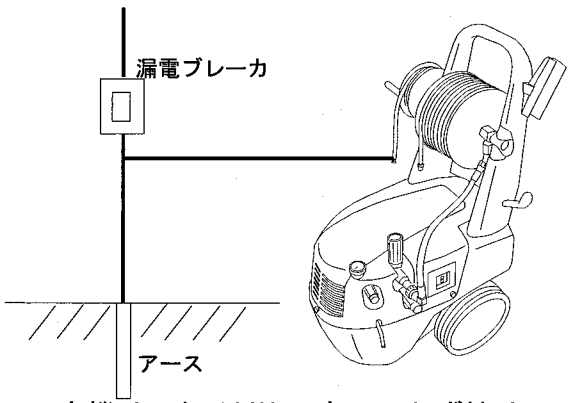
三相200V

清水専用



このたびはマキタ高圧洗浄機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



本機は三相 200V ですので必ず接地（アース、黄・緑の縞模様）してください。

主要機能

電動機	電　　圧	三相 200V
	定格電流	16.7A　50Hz/60Hz
	周波数	50-60Hz
	定格出力	4.0kw
	回転数	50Hz 1450min^{-1}　　60Hz 1750min^{-1}
ポンプ	形　　式	3連プランジャポンプ
	吐出圧	14.7MPa(147bar)
	水　　量	13　L/min
	最高吸込揚程	2.0 m
機体寸法		長さ 635mm×幅 560mm×高さ 950mm
質　　量		50 kg
標準付属品		・可変ノズル付ハイローライフルガン　1本 ・高圧ホースリール(ホース 15m 巻) 1本 ・吸水ホース (3m ストレーナ付) 1本

・ 改良のため、主要機能および形状などは予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠危険 ・ ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠危険 ・ ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠危険 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が高いものを示す内容のご注意。

⚠警告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 危険

高圧水にご注意

◆本機は高圧水を発生しますので絶対に人、動物、ご自分の体に向けて噴射しないでください。重大事故の原因となります。又、運転停止時には高圧ホース内の残圧を抜いてください。この洗浄機は業務用です。すべての危険、警告、注意事項をご理解の上、ご使用ください。

感電にご注意

◆電源が切られていない状態で、点検・整備すると、誤ってショート、感電し、重大な事故の原因になりますので、必ず本機のスイッチを『OFF』にし、さらに元電源を切ってから作業してください。

◆作業現場のすべての通電部品（各種装置、電源コード、コンセントなど）に高圧水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。

◆電源コードを踏んだり引っ張ったりしないで大切に扱ってください。

◆濡れた手で通電部品をさわらないでください。

◆必ずアース線（緑、黄の縞模様）をアースしてください。（電気設備技術基準 18～28 条により接地工事を行ってください。）

◆アース線をガス管に接続しないで下さい。火災、爆発の原因になります。

◆雨の日の屋外での作業には使用しないでください。

◆停電した時は必ず元電源を切ってください。けがの恐れがあります。

◆ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。
また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。

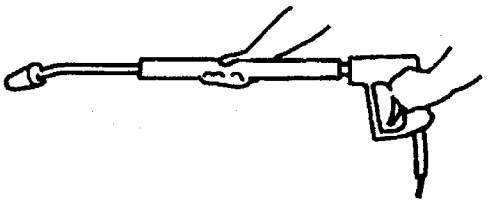
◆ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。

事故が発生した場合の処置

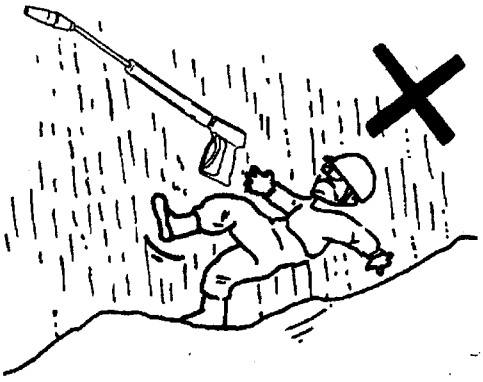
◆高圧水により、人体が損傷した場合、思わぬ事態になっている事がありますので、早急に医師の手当てを受けてください。

⚠ 危険

◆作業時は、両手で確実にライフルガンを保持してください。
水圧でライフルガンがはね返り、けがの原因となります。



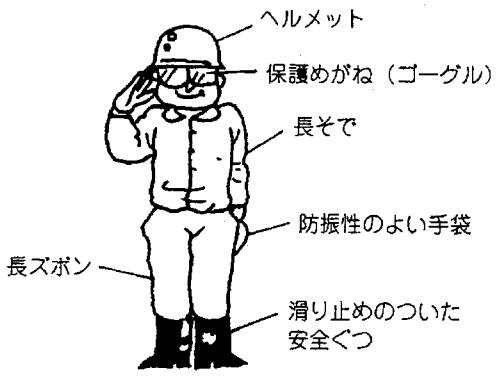
◆雨上がりなど足元が滑りやすい場所では、使用しないでください。
また、常に足元に注意し、バランスが保てる無理のない姿勢で使用してください。
転倒して、けがの原因になります。



◆作業中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにモーターを停止させ使用を中止し、お買い求めの販売店、または、お近くの弊社直営事業所に点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると、けがの原因になります。

◆次のとき、機械を使用しないでください。事故の原因となります。
- アルコールを飲んで作業しないでください。
- 身体の悪い時、気分のすぐれない時なども作業することを避けてください。
- 酒類や薬物を飲んで正常な作業ができないとき。
- 暗闇等周囲の確認がとれない状況下。
- 妊婦による作業。

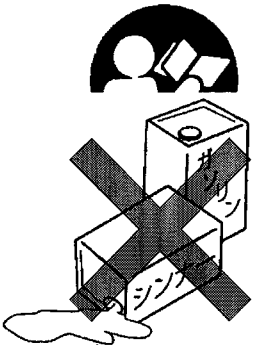
◆作業時は常に防振性のよい手袋、保護めがね、保護帽子（ヘルメット）を使用し、履物は滑りにくいものを着用してください。



⚠ 危険

◆運転前に高圧ホースが確実に接続されている事を確認してください。高圧水が漏れると重大な事故につながります。
◆本機の点検、整備、調整を行う場合は、元電源を切(OFF)にし、必ずモーターを停止させ、本機に残っている圧力を抜いて安全を確認してから、行ってください。
◆目、身体に直接、間接的でも高圧水が当たると、けがの原因になります。作業には目を保護するもの（ゴーグル等）を、また、適切な作業着を着用してください。
◆点検以外はカバーを開けないでください。モーターは60℃以上の高温になり、火傷の恐れがあります。
◆電源は「安全上のご注意」及び、「電源の接続について」を参照し、事故のないように十分注意してください。
◆本機は非常に高い圧力水を発生しますので絶対に人、動物、自分の身体に向けて噴射しないでください。　この洗浄機は業務用です。すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
◆高所で作業する場合、足場をしっかりと固定して落下防止対策を行い、安全に作業してください。本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や、設備から１ｍ以上離して使用してください。不安定な場所に設置すると、本機が移動や落下、転倒して事故の原因になります。
◆落下、移動の恐れのある所では、車輪止めやグリップをロープで縛り付けるなどして確実に本機を固定してください。
◆降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
◆本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
◆本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
◆回転部分のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
◆本機を吊り上げないで下さい。本機の落下につながり大変危険です。
◆本機のすべての部材は高圧力に耐える規格品を使用しておりますので、メーカー純正部品を使用してください。改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちにお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または最寄りのマキタ直営営業所までご相談ください。

⚠ 警告



◆ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

・機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。

◆作業場の周囲状況も考慮してください。

・揮発性可燃物（ガソリン、シンナーなど）の近くでは使用しないでください。
・腐食性ガス（塩分、酸、アンモニア、オゾンガス、亜硫酸ガスなど）の雰囲気では使用しないでください。

◆木くずなどのゴミやホコリの多い場所には設置しないでください。

・過熱事故や異常磨耗の原因になります。

◆風窓をふさいだり、狭い箱などの中に入れて使用しないでください。

・モーターが焼損する原因になります。

⚠警告

◆高圧洗浄機の上に座ったり、重量物を載せたりしないでください。

・破損や亀裂、変形の原因になります。

◆通気の悪い場所で使用しないでください。

・モーター・ポンプが焼損する原因になります。

◆昇圧機などのトランス類は使用しないでください。

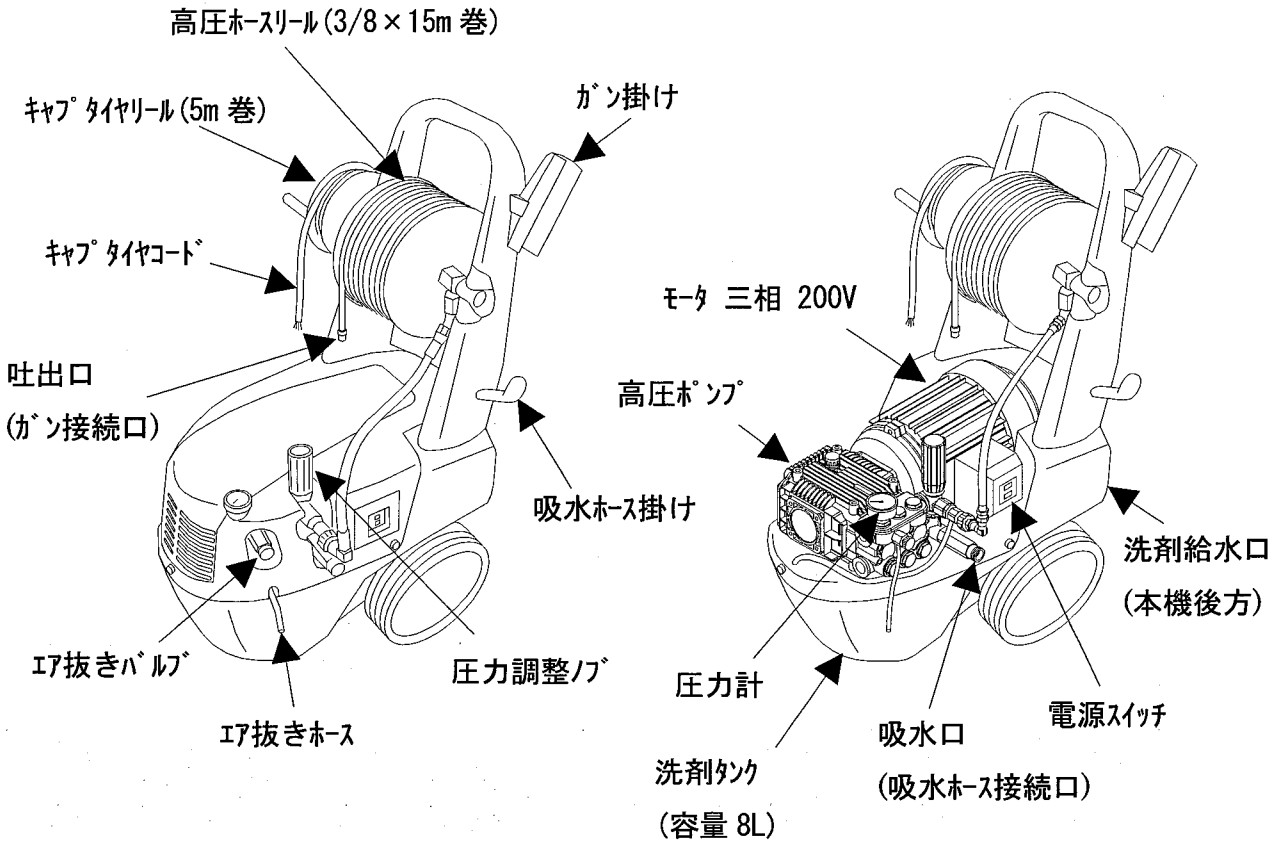
故障や発火、発熱、焼損の原因になります。

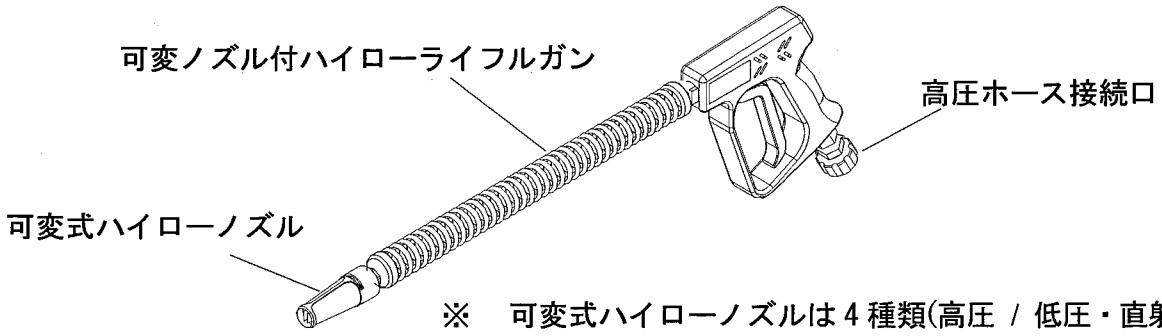
◆ガン、ランス及び吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続して下さい。
◆作業中は、高圧ホースを引っ張らないでください。
◆針金などを使ってガンのレバーを固定するようなことは絶対にしないで下さい。
◆高層建物でホースを垂直にはわす場合は、万一ホースの接続が外れても、ホースが落下しないように中間でホースを固定して下さい。
◆運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
◆スイッチ、又は電磁開閉器周りのカバーは、外さないでください。外す時は電源を切り、さらに元電源を切ってください。
◆運転中は、本機のカバーを開けないでください。

⚠注意

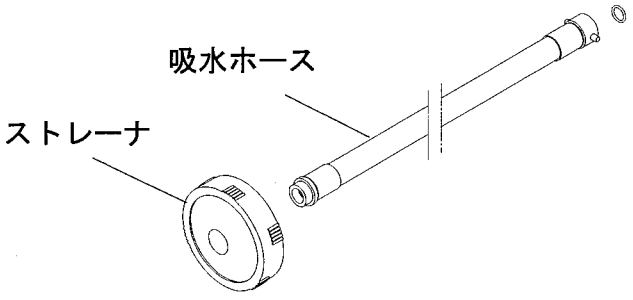
◆清水を使用してください。ゴミ等を吸いますと、本機の能力の低下につながりますので注意してください。また、吸水温度は40℃までで、ボイラー等と接続しないでください。
◆圧力調整は1.96MPa～14.7MPa(20kgf/cm^2～150kgf/cm^2)定格圧力の範囲で調整を行ってください。圧力の上げ過ぎ、下げ過ぎ共に本機故障につながりますので注意してください。
◆冬期、0℃以下になる場合や凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。寒冷地域ではモーターを始動させてポンプ内に不凍液を自吸させてください。(例：ラジエータ用不凍液　濃度30～60%)
◆冬期、水抜きを忘れ、凍結した際には、高圧ポンプヘッド部にお湯をかけて氷を溶かしてからご使用ください。無理にモーターを駆動させますとポンプなどの故障の原因となります。
◆泥水等は絶対に使用しないでください。
◆無吸水での運転はしないでください。シール等が破損します。
◆作業時は安全靴、ヘルメット、防護メガネ、防護服を着用してください。
◆作業中は、高圧洗浄機のまわりをよく見て安全を確認してください。
◆吐出された水を飲用などに用いないでください。
◆清水を使用してください。ゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
◆工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。
◆冬期、0℃以下になる場合や凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。0℃以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。
◆冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
◆空運転は絶対にしないでください。通常始動後約10秒程度で吸水をします。それ以上(最大1分間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
◆本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
◆日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合な状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機を故障する原因となります
◆運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
◆指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。

各部の名称





※　可変式ハイローノズルは 4 種類(高圧 / 低圧・直射 / 扇形)の吐出ができます。



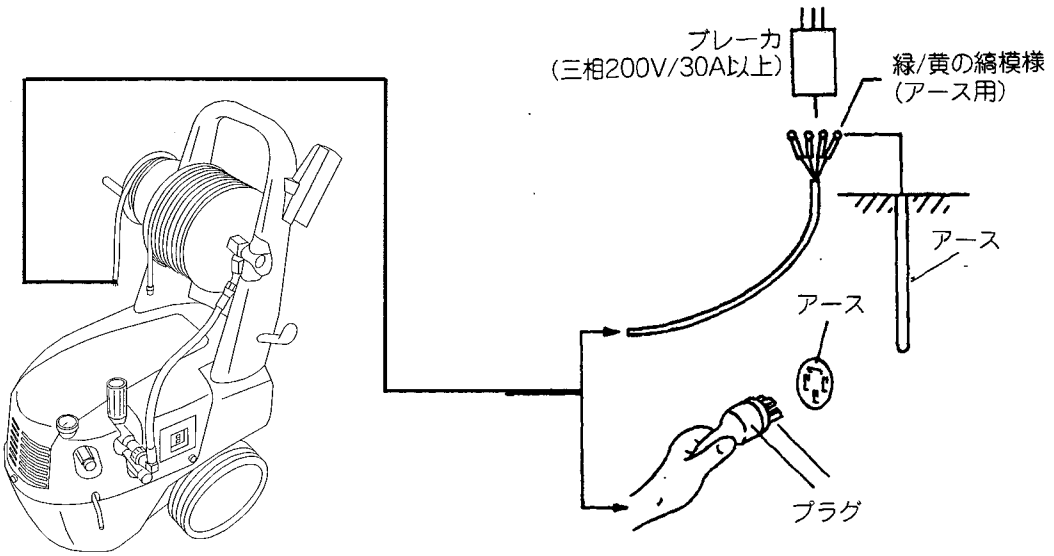
電源の接続について

⚠ 危険

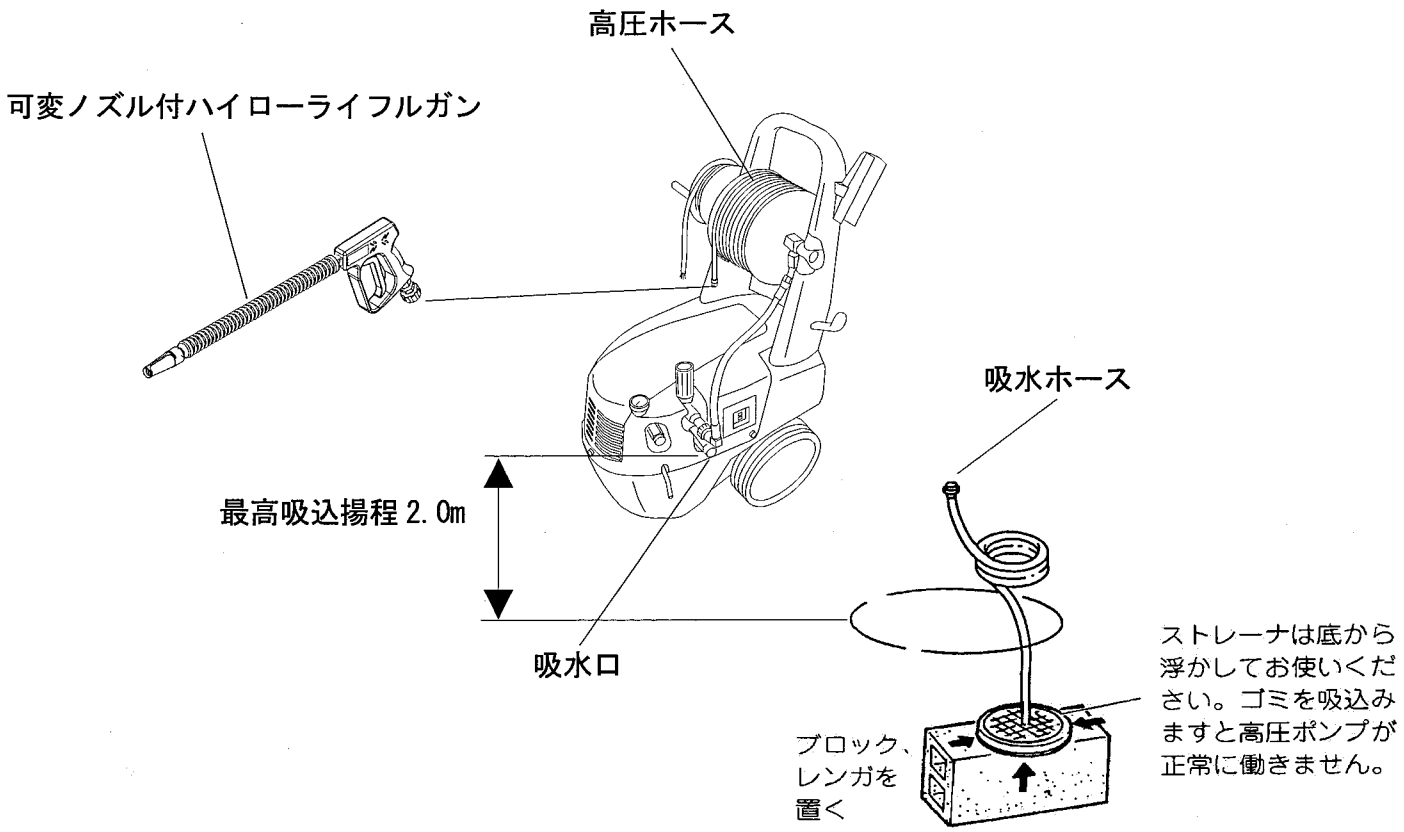
●電気配線施行上のご注意

- 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 電源には安全の為、ヒューズもしくはノーヒューズブレーカを使用し、必ず漏電ブレーカも設置してください(30A 以上の電源が必要です)。
- 配線作業は、元電源を切（OFF）にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電の恐れがあります。
- 配線は裸線での結束は絶対避けてください。
- 黄、緑の線はアース線です。必ずアースしてください。アースをしなければ漏電ブレーカは作動しません。
- キャプタイヤコードの茶、青、黒を丸端子で確実にブレーカまたはコンセントに取り付けてください。モータ回転方向は左右どちらでも使用可能です。
- コンセント使用の時は 30A 接地引掛 3P をご使用ください。
- キャブタイヤコードを延長する際は 2.5 ㎟ 以上のものをご使用ください。
  細いキャブタイヤコードを使用しますと、電流が増し、安全回路が働きモーターが停止することがあります。
- キャブタイヤコードは巻いて使用せず、必ず延ばした状態でご使用ください。また、キャブタイヤコードの上に重い物を置かないでください。
- 漏電遮断器の 2 ヶ所の裸充電部に触らないようにしてください。
- 通電部品（各種装置、コード、コンセントなど）に高圧水がかからないようにしてください。
- 濡れた手で通電部品をさわらないでください。

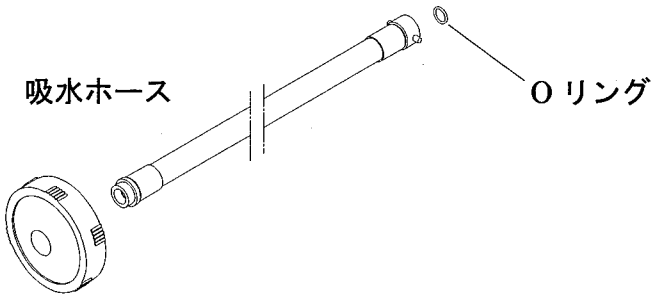
労働安全衛生規則	第 333 条・第 334 条
電気設備の技術基準	第 18 条・第 28 条・第 41 条



操作手順



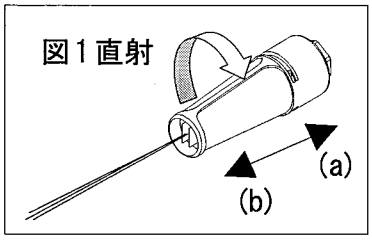
※吸水ホースを本機の吸水口に接続してください。その際接続部に O リングが入っていることを確認してください。O リングが脱落していたり、破損していると空気が混入しポンプが揚水しません。また、吸水ストレーナは完全に水に沈め空気を吸わないようにしてください。

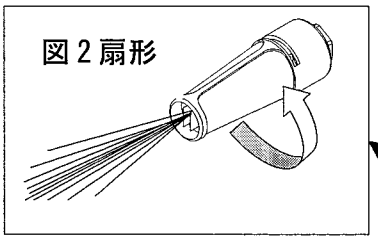


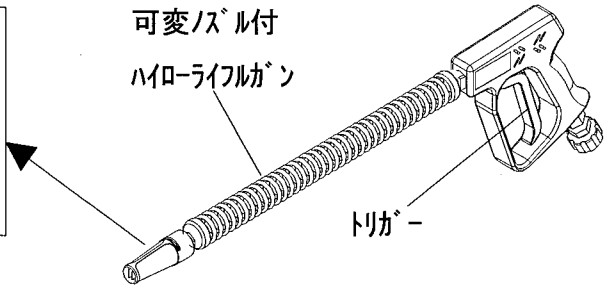
※高圧ホースを可変ノズル付ハイローライフルガンに接続してください。確実に接続しないと高圧水が接続部より噴出して大変危険ですので注意してください。

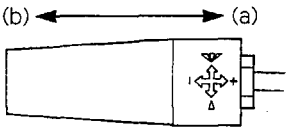
操作手順

可変ノズル付ハイローライフルガンの接続について









可変式ハイローノズルは4種類
(高圧／低圧・直噴／扇形) の
吐出ができます。

・高圧ホース吐出口とライフルガンをしっかり接続してください。

・ライフルガンの先端にはハイローノズルが付いており、直射(0°)から扇形(80°)の範囲で自由に使用できます。

噴射パターンの切り替え

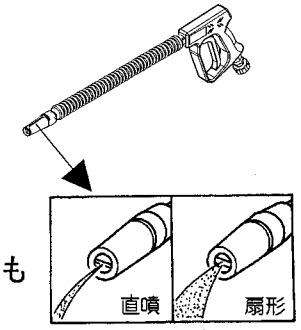
・ノズルの先端を(a)方向に引き、矢印方向に回すと高圧・直射となります。(図1)

・ノズルの先端を(a)方向に引き、矢印方向に回すと高圧・扇形となります。(図2)

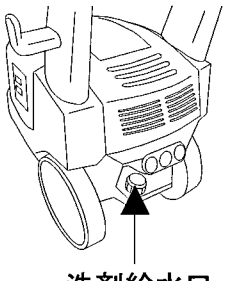
・ノズルの先端を(b)方向に“カチッ“と音がするまで引くと、低圧になります。
直射、扇形でも洗剤の混入が可能となります。
高圧モードでは洗剤を吸入しません。

洗剤の使用について

本機後方の洗剤給水口のキャップをはずし
洗剤を入れてください。約8L入ります。
ハイローノズルを低圧モードにしますと直射・扇形でも
洗剤が混入されて吐出されます。洗剤の飛散を
防ぐため、水に勢いはありません。



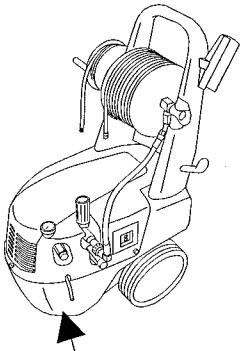
低圧モード



洗剤給水口

注
・洗剤は比重1(水と同じ粘度)程度の市販品をお求めください。
・環境におだやかな洗剤をご使用ください。

タンクから洗剤を抜く場合はタンク底面のドレンプラグをラジオペンチ等でつかんで引き抜いてください。このとき、本機を転倒させないようご注意ください。



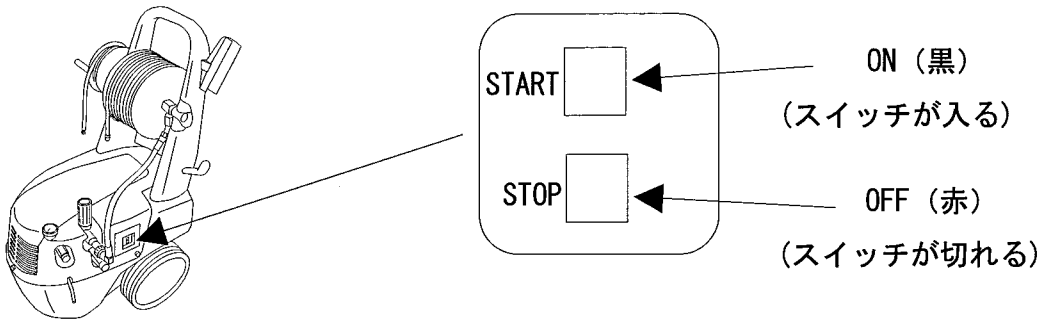
ドレンプラグ

操作手順

・三相 200V(容量 30A 以上)の電源に接続します。

⚠ 注意

電源スイッチボタンを一気に押して電源を入れてください。

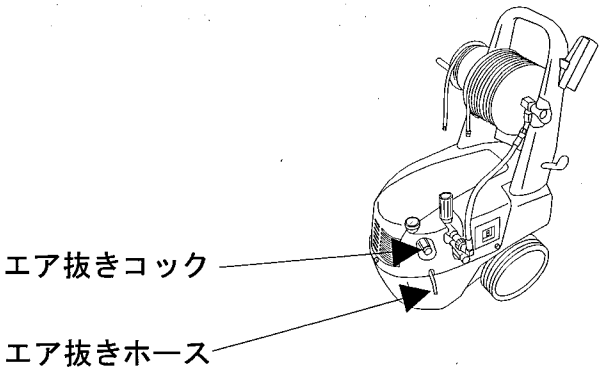


エア抜き操作をしてください。

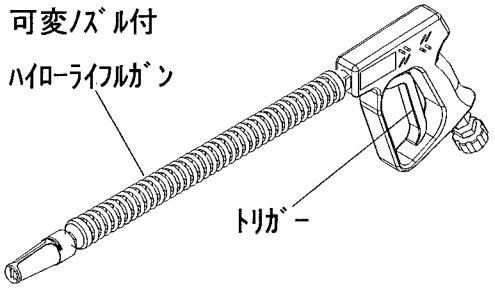
・ スイッチを ON にしたらエアー抜きコックを反時計方向に 1 回転程回して開にしてください。エア抜きホースより水が出てきてから 4～5 秒後にコックを時計回りに閉じてエアー抜きを完了してください。

⚠ 注意

噴射中にエア抜きコックを操作しないでください。



・エア抜きが完了しましたら、洗浄物にライフルガンを向けトリガーを握ってください。その際、高圧水が勢いよく吐出されますので、ライフルガンを両手でしっかり保持してください。



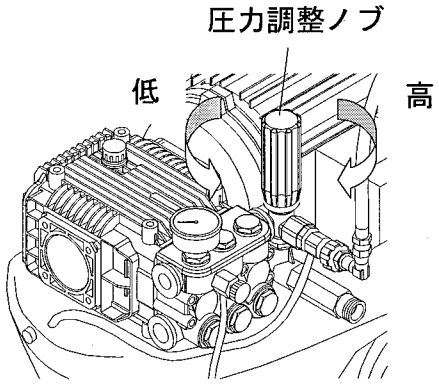
⚠ 警告

本機は水平な場所に据付け、運転時の振動で移動しないように車輪止めをしてください。
また、高圧ホースを無理に引っぱると本機が転倒するおそれがあります。

操作手順

圧力調整について

・吐出圧の調整は、トリガを握り、噴射させながら
圧力調整ノブを用途に応じてセットしてください。



圧力を上げる—圧力調整ノブを右
(時計方向)に回す。
圧力を下げる—圧力調整ノブを左
(反時計方向)に回す。

・吐出圧　1.96MPa～14.7MPa(19.6bar～147bar)

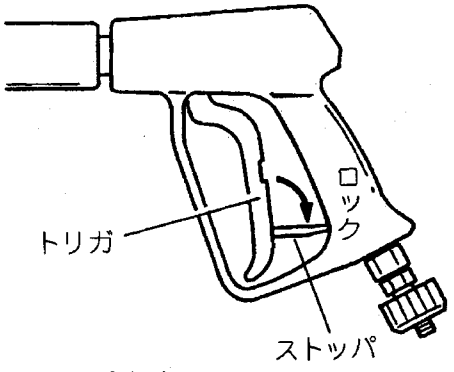
注　※出荷時に圧力調整してありますので、必要以上に圧力を上げたり、下げたりしないでください。

⚠危険

・圧力調整のため、水を噴射させる時は人、動物、ご自分に向けないようにしてください。

トリガ・ガンのストッパの使い方について

・一時作業を中断する場合は、危険防止のため
トリガのストッパを起こして必ずロック
してください。



停止手順について

・吸水ホースを引き上げます。
・ノズルから水が出なくなるまで、トリガを引きます。
・水が出なくなれば、すぐにスイッチを OFF にします。

⚠危険

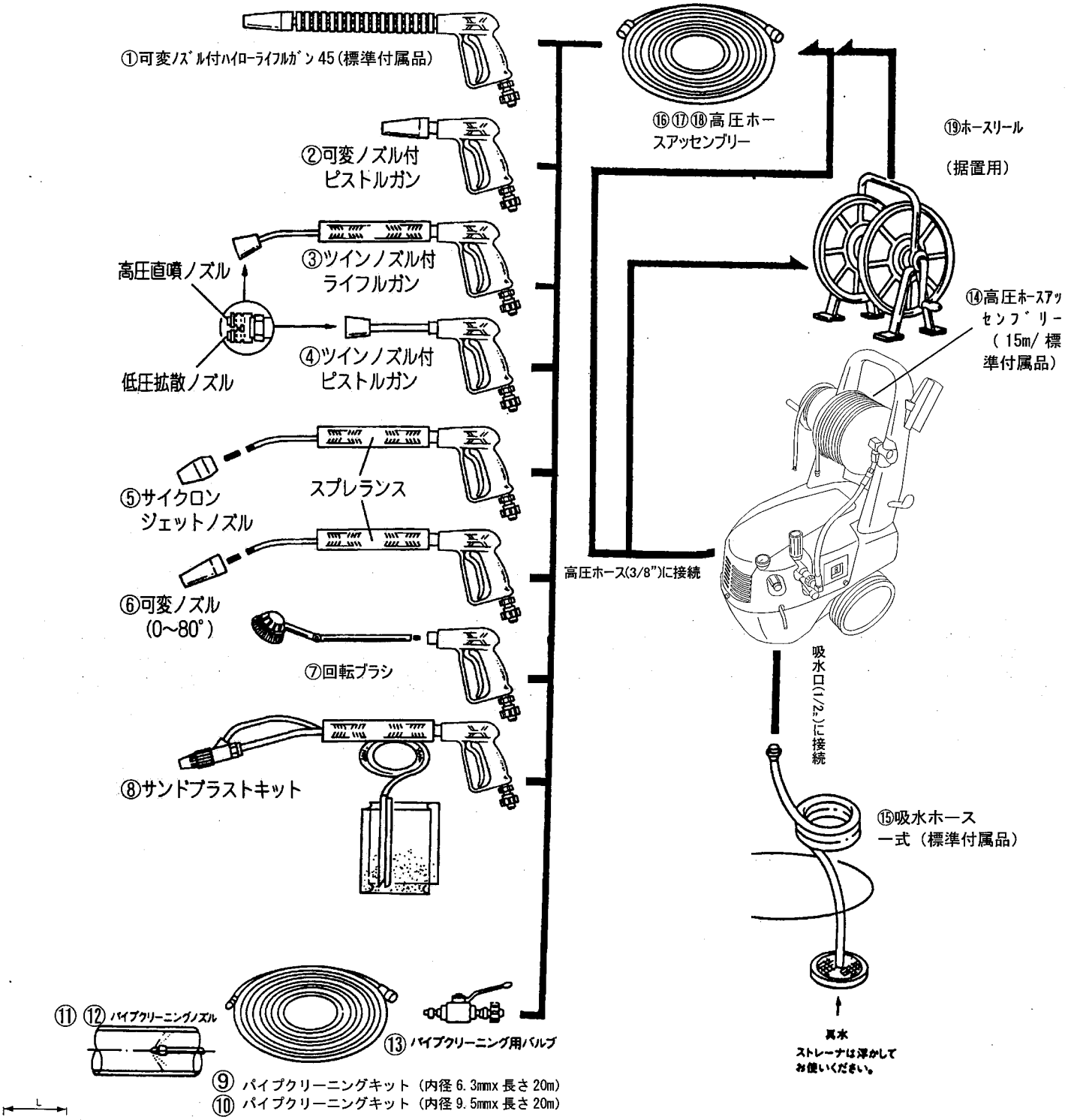
高圧ホース内に高圧水が残った状態ではジョイントがはずせません。無理にはずしますと高圧水が噴き出しますのでモーター停止後トリガを 2～3 回引いて必ず残圧を抜いてください。

使用後の取り扱いについて

●作業を終えた時
高圧ポンプ、高圧ホース、ライフルガンの水抜きを必ず行ってください。
空運転させて水を除去してください。

●水抜きは 30 秒程度で終わります。それ以上の空運転は高圧ポンプの故障原因となりますので注意してください。凍結の恐れがある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。重大な故障の原因となります。
寒冷地域では、不凍液をポンプに自吸させてください。(例：ラジエータ用不凍液 濃度 30～60%)

洗浄作業をシステムアップする豊富なアクセサリ(別販売品)



⑨ パイプクリーニングキット (内径 6.3mmx 長さ 20m)
⑩ パイプクリーニングキット (内径 9.5mmx 長さ 20m)

パイプクリーニングノズル

	⑪	⑫
ホースサイズ	内径6.3mm	内径9.5mm
ノズルサイズ	AXDXL	AXDXL
(mm)	PT1/4X18X36	PT3/8X25X43
エルボ	75A	100A
最小~最大 (直管)	25A (直管) ~ 150A (直管)	32A (直管) ~ 200A (直管)
最少曲げ半径	R75	R100
自走距離		

パイプ径および詰まり具合により異なります。

使用条件によって異なりますがﾊﾟｲﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞﾎｰｽは 40m まで接続可能

洗浄作業をシステムアップする豊富なアクセサリ(別販売品)

モデル No.	HW150	モデル No.	HW150
①可変ﾉｽﾞﾙ付ﾊｲﾛｰﾗｲﾌﾙｶﾞﾝ 45(標準付属品)	SP04999079	⑫ﾊﾟｲﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞ用ﾉｽﾞﾙ 9.5mm 用	SP04000280
②可変ﾉｽﾞﾙ付ﾋﾟｽﾄﾙｶﾞﾝ	SP04999173	⑬ﾊﾟｲﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞ用ﾊﾞﾙﾌﾞ	SP00000119
③ﾂｲﾝﾉｽﾞﾙ付ﾗｲﾌﾙｶﾞﾝ	SP00000198	⑭高圧ﾎｰｽｱｯｾﾝﾌﾞﾘｰ(15m/標準付属品)	SP04330021
④ﾂｲﾝﾉｽﾞﾙ付ﾋﾟｽﾄﾙｶﾞﾝ	SP00000262	⑮吸水ﾎｰｽ一式(標準付属品)	SP00000275 (ｽﾄﾚｰﾅ付)
⑤ｻｲｸﾛﾝｼﾞｪｯﾄﾉｽﾞﾙ	SP00004047	⑯高圧ﾎｰｽｱｯｾﾝﾌﾞﾘｰ(10m)	SP40000536
⑥可変ﾉｽﾞﾙ (0° ～80°)	SP4000021K	⑰高圧ﾎｰｽｱｯｾﾝﾌﾞﾘｰ(20m)	SP40000537
⑦回転ﾌﾞﾗｼ	SP00000082	⑱高圧ﾎｰｽｱｯｾﾝﾌﾞﾘｰ(30m)	SP40000538
⑧ｻﾝﾄﾞﾌﾞﾗｽﾄｷｯﾄ	SP04999603	⑲ﾎｰｽﾘｰﾙ (据置用/40m 巻)	SP00000340
⑨ﾊﾟｲﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞｷｯﾄ (内径 6.3mm×長さ 20m)	SP49990893		
⑩ﾊﾟｲﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞｷｯﾄ (内径 9.5mm×長さ 20m)	SP49990894		
⑪ﾊﾟｲﾌﾟｸﾘｰﾆﾝｸﾞ用ﾉｽﾞﾙ 6.3mm 用	SP04000275		

オイルの確認について

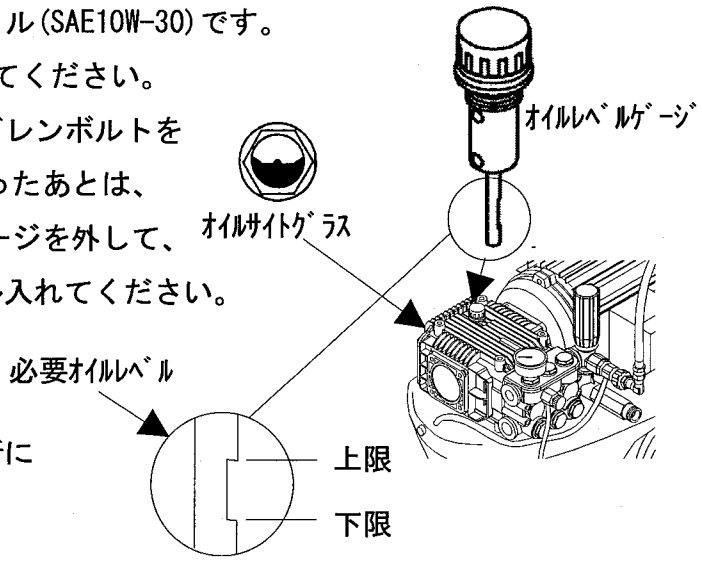
〈日常点検〉

・　ポンプのオイルのレベルは日常点検し、カバー点検窓のグロメット（ゴム）を外しポンプオイルサイトグラス中央付近にオイルが見えているか、もしくはオイルレベルゲージのレベル内にオイルが正しく入っているか確認してください。減ったらオイルレベルゲージを外してオイルを注ぎ足してください。

オイルは市販の自動車用４ストロークエンジンオイル(SAE10W-30)です。

・オイルは200時間使用、または90日ごとに交換してください。

オイル交換時はお手持ちのスパナでポンプ後方のドレンボルトを取りはずしオイルを抜きとってください。抜きとったあとは、ドレンボルトを確実に取り付けてオイルレベルゲージを外して、オイル(エンジンオイルSAE10W-30)を0.4リットル入れてください。



・オイルが乳白色に白濁している場合は水の混入が考えられます。すぐにお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または最寄りのマキタ直営営業所に修理をお申しつけください。

注

オイルを入れすぎますと、運転中にオイルがオーバーフローします。

ラインストレーナの点検について

注

※ポンプ本体の吸水口には、より細かなゴミを取り除くためにラインストレーナを入れておりますので、下記の様な症状のときはラインストレーナを点検してください。

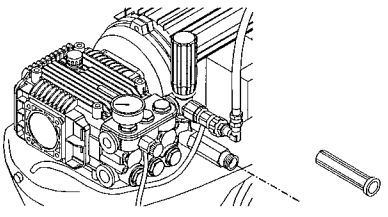
・全く水を吸わないか、または断続的に吸水する場合。

・高圧ホースが異常に脈動する場合。

・圧力が規定圧まで上がらない。または、圧力が安定しない場合。

点検要領

1. 吸水ホースをはずします
2. 吸水口のラインストレーナを取出します
   （網を破らないように細かい棒で取出します）.
3. ラインストレーナに破れ、損傷がある場合は交換。ゴミが付着している場合は取り除いてください。
4. 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合は、ラインストレーナが水アカで目詰まりしている事があります。充分に清掃してください。



ラインストレーナ

異常時保護機能について

本機は下記の異常時に保護機能が働き運転が止まります。

・モーター異常過熱

・異常電圧降下

保護機能が働いた場合は、電源スイッチを STOP にして、電源コードプラグをコンセントから抜いてください。

原因と思われる、下記事項を確認してください。

・他の機器と同時に使用していないか。(電圧降下)

・延長コードの長さ 20m 以上、太さ 2.5mm^2 未満になっていないか。(電圧降下)

・冷却ファンの風窓の前に遮閉物がないか。(異常過熱)

・元電源の容量が 30A 以下になっていないか。(容量不足)

・通気の悪い場所での長時間運転をしていないか。(異常過熱)

以上確認の上、原因を取り除いてください。

本機が冷えてから、電源コードプラグをコンセントに接続し、電源スイッチを ON にしてください。

それでも保護機能が働く場合は、高圧洗浄機の機械的故障が考えられますので、直ちに使用を中止し、お買い求めのマキタ電動工具登録販売店または最寄りのマキタ直営事業所までご連絡ください。

トラブルのチェックポイント

ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

症状	原因	対策
吸い込みにくい、又は吸い込まない	水源の水量不足	清水を補給する。
	吸水ホースストレーナが完全に水中に沈んでいない	ストレーナを完全に水中に沈める
	ストレーナの目詰まり	ストレーナを清掃する
	吸込揚程が高すぎる	吸込揚程を 2m 以内にする
	吸水ホースの接続不良および0リング不良	ホース接続部を確実に締め付ける 0リングの破損および脱落を確認する
	吸水ホースの損傷	ホースを交換する
	吸水・吐出バルブの作動不良またはゴミが詰まっている	※バルブを清掃、点検し、必要ならバルブを交換する
圧力が上がらない	吸水ホースのストレーナの目詰まり	ラインストレーナ、吸水ホースのストレーナを清掃する
	吸水ホースの接続不良	ホースを確実に接続する
	吸水・吐出バルブの作動不良またはゴミが詰まっている	※バルブを清掃、点検し、必要ならバルブを交換する
	高圧、低圧シールの磨耗、損傷	※シールを交換する
	不適合なノズルガンの使用	正しいノズルガンに交換する
	ノズルチップの磨耗	※ノズルチップの交換
	圧力調整バルブの磨耗	※ローワピストンを交換する
圧力が安定しない	水源の水量不足	清水を補給する
	吸水ホースのストレーナの目詰まり	ラインストレーナ、吸水ホースのストレーナを清掃する
	吸水ホースの接続不良	ホースを確実に接続する
	吸水・吐出バルブの作動不良またはゴミが詰まっている	※バルブを清掃、点検し、必要ならバルブを交換する
スイッチがトリップ（誤作動）する	結線の締め付けが悪い	丸端子により、確実に電源及びコンセントに取り付ける
	圧力が高い	本機のセット圧力に合わせる
	欠相している	電源 3 本の内、どれかがはずれている。またはアースを間違えて、電源にいれている
	スイッチの不良	何度かトリップすると、正規の状態に戻しても、トリップしたり溶着するので交換
	キャプタイヤコードが細い	延長コードの太さを 2.5mm² 以上に変更する
	電流値がオーバーしている	一度トリップすると約 3 分間はスイッチが入りません。トリップする原因を取り除いてからスイッチを入れてください
スイッチを入れても動かない	スイッチの不良	※交換する
	漏電ブレーカがトリップしている	絶縁不良箇所を直し、復帰する
	電流容量が少ない	元電源の電流容量を 30A にする
	ｷｬﾌﾟﾀｲﾔｺｰﾄﾞが断線している	※ｷｬﾌﾟﾀｲﾔｺｰﾄﾞを交換する。

※の項目は必ずお買い求めのマキタ電動工具登録販売店または最寄りのマキタ直営営業所にお申しつけください。

保守・点検について

・お使いになったあとは、早目にお手入れを行ってください。お手入れが不充分ですと次にお使いになる時に目づまりをおこし、噴射圧が低下したり故障の原因となります。

・本体および各種付属品は清水を通して洗浄したのち、給水を止め、トリガを引きながらスイッチを入れ、水の噴出がなくなるまで、空運転してください。(水が吐出しなくなったらすぐにスイッチを切ってください。) あとは乾いた布で水気を拭いてください。

・直射日光や雨水を受けない場所に保管してください。

・高圧ホース、付属品などが磨耗、破損、水漏れがないか点検し、異常のある場合は直ちに修理交換してください。

・塩害の恐れのある地域では、防錆液(コスモ　ロングライフクーラント<防錆剤入り>相当品)をポンプに吸入させて保管してください。

⚠注意

・特に冬期に水が入ったまま放置しておきますと、凍結して故障の原因となります。
凍結が予想される場合は不凍液 (例 : ラジエータ用不凍液 濃度 30～60%) をポンプ内に自吸させてください。

故障かな?と思ったら……

・ご自分で本体の分解、修理はなさらないで、次の点を確認のうえ、お買い求めのマキタ電動工具登録販売店または最寄りのマキタ直営営業所にお申しつけください。

（1）形式名と機番　　（2）ご使用状況（どんな時に不具合となりましたか？）

（3）ご購入時期　　（4）不具合状況（水を吸わない、圧力が上がらない、モーターが始動しない等）

能率よくお使いいただくために

・マキタ純正品をご使用ください。

・三相 200V, 30A 以上の電源を必ず使用してください。

・年 1 回の定期点検をおすすめします。

MEMO

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	(011) (783) 8141
札幌営業所	(011) (783) 8141
旭川営業所	(0166) (29) 0960
釧路営業所	(0154) (37) 4849
函館営業所	(0138) (49) 9273
苫小牧営業所	(0144) (68) 2100
帯広営業所	(0155) (36) 3833
北見営業所	(0157) (26) 9011
仙台支店	(022) (284) 3201
仙台営業所	(022) (284) 3201
古川営業所	(0229) (24) 0698
青森営業所	(017) (764) 4466
八戸営業所	(0178) (43) 3321
盛岡営業所	(019) (635) 6221
水沢営業所	(0197) (22) 5101
郡山営業所	(024) (932) 0218
いわき営業所	(0246) (23) 6061
新潟支店	(025) (247) 5356
新潟営業所	(025) (247) 5356
長岡営業所	(0258) (30) 5530
山形営業所	(023) (643) 5225
酒田営業所	(0234) (26) 3551
秋田営業所	(018) (863) 5205
宇都宮支店	(028) (634) 5295
宇都宮営業所	(028) (634) 5295
小山営業所	(0285) (25) 5559
水戸営業所	(029) (248) 2033
土浦営業所	(029) (821) 6086
関東物流センター	(048) (771) 3451
埼玉支店	(048) (777) 4801
さいたま営業所	(048) (777) 4801
川越営業所	(049) (222) 2512
熊谷営業所	(048) (521) 4647
越谷営業所	(0489) (76) 6155
前橋営業所	(027) (232) 5575
高崎営業所	(027) (365) 3688
両毛営業所	(0276) (46) 7661
千葉支店	(043) (231) 5521
千葉営業所	(043) (231) 5521
市川営業所	(047) (328) 1554
成田営業所	(0478) (73) 8101
木更津営業所	(0438) (23) 2908
柏営業所	(04) (7175) 0411
東京支店	(03) (3816) 1141
東京営業所	(03) (3816) 1141
中野営業所	(03) (3337) 8431
足立営業所	(03) (3899) 5855
大田営業所	(03) (3763) 7553
江戸川営業所	(03) (3653) 5171
多摩営業所	(042) (384) 8411
立川営業所	(042) (542) 1201
横浜支店	(045) (472) 4711
横浜営業所	(045) (472) 4711
川崎営業所	(044) (811) 6167
平塚営業所	(0463) (54) 3914
相模原営業所	(042) (757) 2501
湘南営業所	(0466) (87) 4001
静岡支店	(054) (281) 1555
静岡営業所	(054) (281) 1555
沼津営業所	(055) (923) 7811
浜松営業所	(053) (464) 3016
甲府営業所	(055) (276) 7212
金沢支店	(076) (249) 5701
金沢営業所	(076) (249) 5701
七尾営業所	(0767) (52) 3533
富山営業所	(076) (451) 6260
高岡営業所	(0766) (21) 3177
福井営業所	(0776) (35) 1911
岐阜支店	(058) (274) 1315
岐阜営業所	(058) (274) 1315
多治見営業所	(0572) (22) 4921
松本営業所	(0263) (25) 4696
長野営業所	(026) (225) 1022
上田営業所	(0268) (22) 6362
飯田営業所	(0265) (24) 1636
名古屋支店	(052) (571) 6451
名古屋営業所	(052) (571) 6451
一宮営業所	(0586) (75) 5382
東名古屋営業所	(0561) (73) 0072
知多営業所	(0569) (48) 8470
岡崎営業所	(0564) (22) 2443
豊橋営業所	(0532) (46) 9117
四日市営業所	(059) (351) 0727
津営業所	(059) (232) 2446
伊勢営業所	(0596) (36) 3210
京都支店	(075) (621) 1135
京都営業所	(075) (621) 1135
福知山営業所	(0773) (23) 7733
大津営業所	(077) (545) 5594
彦根営業所	(0749) (22) 6184
大阪支店	(06) (6351) 8771
大阪営業所	(06) (6351) 8771
東大阪営業所	(06) (6746) 7531
関西物流センター	(0725) (46) 6715
南大阪営業所	(0725) (46) 6611
奈良営業所	(0742) (61) 6484
橿原営業所	(0744) (22) 2061
和歌山営業所	(073) (471) 4585
田辺営業所	(0739) (25) 1027
沖縄営業所	(098) (874) 1222
兵庫支店	(0794) (82) 7411
三木営業所	(0794) (82) 7411
尼崎営業所	(06) (6437) 3660
神戸営業所	(078) (672) 6121
姫路営業所	(0792) (81) 0204
広島支店	(082) (293) 2231
広島営業所	(082) (293) 2231
福山営業所	(084) (923) 0960
三原営業所	(0848) (64) 4850
岡山営業所	(086) (243) 4723
宇部営業所	(0836) (31) 4345
徳山営業所	(0834) (21) 5583
鳥取営業所	(0857) (28) 5761
松江営業所	(0852) (21) 0538
高松支店	(087) (841) 2201
高松営業所	(087) (841) 2201
徳島営業所	(088) (626) 0555
松山営業所	(089) (951) 7666
宇和島営業所	(0895) (22) 3785
高知営業所	(088) (884) 7811
福岡支店	(092) (411) 9201
福岡営業所	(092) (411) 9201
北九州営業所	(093) (551) 3481
飯塚営業所	(0948) (26) 3361
久留米営業所	(0942) (43) 2441
佐賀営業所	(0952) (30) 6603
長崎営業所	(095) (882) 6112
佐世保営業所	(0956) (33) 4991
熊本支店	(096) (389) 4300
熊本営業所	(096) (389) 4300
八代営業所	(0965) (43) 1000
大分営業所	(097) (567) 3320
宮崎営業所	(0985) (26) 1236
鹿児島営業所	(099) (267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)